

週刊(毎週月曜日発行)／購読料・1カ年52,500円、6カ月28,500円(税・送料込み)／昭和55年9月26日第三種郵便物認可／発行所・株式会社 鋼構造出版／発行人・田中貴士 編集人・大熊稔／本社・東京都中央区日本橋茅場町2-2-2 三恵ビル5階 〒103-0025 電話 東京03(5642)7011(代表) F A X 03(5642)7077／大阪支社・大阪市西区西本町1-14-3 本町コスモビル 〒550-0005 電話06(6536)2601(代表) F A X 06(6536)7603／札幌支局・札幌市白石区北郷4条3丁目2-21 〒003-0834 電話011(879)7666 F A X 011(873)3636／振込銀行口座・みずほ銀行京橋支店024-1044873／郵便振替口座 東京00130-9-13713

おもな記事

- 第10回理事会ウェブで開催／全青会……………(2面)
- 北豊高工業高校で「溶接研修会」／東京都溶接協会……………(2面)
- 推定鉄骨需要量は約33万ト／国土交通省10月着工統計……………(5面)
- CCUSなどで意見交換／国交省と建設業4団体……………(6面)
- NDI資格試験スケジュール／諮問委員会で改めて周知……………(7面)
- 質疑応答概要／NDI諮問委員会……………(10面)
- 特集／建材流通と部材加工……………(15～33面)
- I形鋼などの営業を強化／ダイサン(大阪)……………(35面)
- 新県立図書館を現場視察／石川県鉄骨工協組……………(40面)
- 各委員会の事業計画などを協議／静岡県鉄骨工協組……………(41面)



事業概況などで意見交換。円内は福田支部長

事業概況などで意見交換

全構協・中国支部

仕事量や稼働率の低迷続く

全国鐵構工業協会・中国支部(支部長 福田秀章・鳥取県鐵構工業会理事長、大照建工社長)は11月25日、広島市内のホテルニューヒロデンで第5回支部会を開催し、各県の事業概況や景況動向などについて意見や情報を交わした。

当日は各県の共済事業や賛助会員制度の報告をもとに情報交換。県独自の共済参画企業やサービス内容について報告が寄せられた。賛助会員制度では各組合の会員企業の業務内容や組合員との業務の関係性、入会基準などの状況について意見交換した。

また、景況動向では各県とも仕事量や稼働率の低迷が続いており、規模やグレード、営業範囲などで企業間格差が拡大していることを確認した。今後の見通しについてはコロナ禍の影響がいつまで続くのかを判断しづらいこともあり、「不透明」との報告が大半を占めた。

鉄骨市況では「軟調気味」との意見も聞かれたが、高炉・電炉メーカーが鋼材価格の値上げを実施しており、製品価値の上昇が予想される中、「原価算出に基づいた適正価格の維持が重要」との認識を共有した。

について意見交換した。また、法改正による溶接ヒューム規制の対応に関して、講習会の開催など各組合の取り組み状況を報告した。その上で、換気設備など施設の全体的な設備設置効果については詳細が不明な点もあるため、今後とも正しい情報の収集とその共有化、周知の重要性を確認した。